

本号のテーマ：「被害をもたらした台風19号」

今年の10月は日本列島に台風が多く上陸し、特に関東・東北、そして例年は台風被害の少ない長野県の東北信地方に甚大な被害をもたらしました。



佐久市でも台風19号により亡くなられた方や家屋・田畑・道路や河川などに大変な被害が発生しましたが、改めてお悔みとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く復旧されますことを心よりお祈り致します。

佐久市教育委員会は10月12日（土）16時45分、市立小中学校全24校を避難所として開設し、同日21時には24校に2,051名の方が避難されました。学校教育委員は全員体制で避難所の運営等に当たりました。

翌朝には多くの方が帰宅されたこともあり、徐々に避難所も縮小され15日（火）の15時には小中学校24校の避難所は一旦閉鎖されました。

学校は通学路の安全確認等のため、小中各1校が15日（火）は休校となりましたが、翌16日（水）からは全24校が通常通りの授業を行うことができました。

佐久市教育委員会は今後も児童生徒が安全かつ安心して学校生活を送れるよう、学校と協力していきます。



「教育委員会の動きなど」

1 佐久地区教育課程研究協議会・長野県市町村教育委員会研修総会

10月は学校教職員の研究会や私たち教育委員の研修会が開催されました。

10月1日（火）には、中込小学校で佐久地区教育課程研究協議会（体育）が開催され、佐久市・小諸市・南北佐久郡の先生方が大勢参加され、児童のためのより良い授業にしようと、一日中熱心に研修をされました。

10月18日（金）には、浅間中学校で同様に佐久地区教育課程研究協議会（理科）が開催されましたが、他の教科等も別の中学校で開催され、授業力向上にそれぞれ有意義な研究会となりました。

また、10月11日（金）には、第63回長野県市町村教育委員会研修総会が飯田市を会場に開催され、糊澤教育長以下、教育委員全員で参加しました。車で往復約5時間30分という強行軍でしたが、基調講演や分科会など充実した研修総会となりました。

2 ふるさと創生人材育成事業「エストニア子ども交流」

本年、5月1日に友好都市から姉妹都市となったエストニア共和国サク市から、今年も子どもたち8名が佐久市を訪れました。

10月23日（水）には、佐久長聖中学校の2年生と教室を順次巡って交流し、翌24日（木）は佐久平浅間小学校を訪問し、6年生の児童と習字の授業などを体験しました。また、市長、議長及び教育長への表敬訪問を行いました。

